

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和2年度第1回加東市児童館運営委員会												
開催日時	令和2年8月18日(火) 午前10時00分から午前11時10分まで												
開催場所	加東市役所 5階 501会議室												
議長の氏名 (委員長 鈴木 正敏) 出席及び欠席委員の氏名 【出席委員】4人 鈴木 正敏 委員長 長谷川 志保 委員 村上 涼子 委員 岡田 知佳 委員 【欠席委員】1人 平川 真也 委員													
説明のため出席した者の職氏名 無し													
出席した事務局職員の氏名及びその職名 <table border="0"> <tr> <td colspan="2">加東市教育委員会</td> </tr> <tr> <td>こども未来部部長</td> <td>広西 英二</td> </tr> <tr> <td>こども教育課課長</td> <td>壺井 初美</td> </tr> <tr> <td>同副課長</td> <td>稲岡 めぐみ</td> </tr> <tr> <td>同主事</td> <td>坂本 亮太</td> </tr> <tr> <td>加東市児童館厚生員</td> <td>依藤 洋子</td> </tr> </table>		加東市教育委員会		こども未来部部長	広西 英二	こども教育課課長	壺井 初美	同副課長	稲岡 めぐみ	同主事	坂本 亮太	加東市児童館厚生員	依藤 洋子
加東市教育委員会													
こども未来部部長	広西 英二												
こども教育課課長	壺井 初美												
同副課長	稲岡 めぐみ												
同主事	坂本 亮太												
加東市児童館厚生員	依藤 洋子												
○議事及び会議結果 【議事】 (1) 協議事項「令和元年度児童館の事業実績について」 市長からの諮問を受け、事務局が資料①から③に基づいて説明し、各委員からご意見をいただきました。 (2) 報告事項「令和2年度児童館の事業計画について」 事務局が、資料④から⑧に基づいて説明し、各委員からご意見をいただきました。 (3) その他 特になし。													

○会議の経過

【開会】

- ・開会のあいさつ（鈴木委員長）
- ・自己紹介（委員及び事務局）
- ・資料確認（事務局）

【議事】

（１）協議事項「令和元年度児童館の事業実績について」

- ・事務局が資料①から③までを説明、その後に委員による審議。

（委員）

子どもが小学生になり、以前から参加したいと思っていた万華鏡づくりに参加させることができた。ようやく参加できたという喜びがあるため、今後も続けてほしい。

（委員）

兵庫教育大学連携講座など普段体験できないことを実施しており、色々なことに取り組んでいる印象を受ける。また、三世代交流事業についての「地域を見直すきっかけになった」という言葉が大変印象的で、遊びを通じた地域との交流による効果がよく考えられた取り組みである。

（委員）

一番上の子どもが１歳の頃から児童館を利用しており、親子活動等様々な活動へ親子ともに楽しく参加している。子どもと活動後に楽しかったことや今後参加してみたいことを話すなど、親子間の話題にもなっている。一番下の子どもが１歳なので、今後も引き続き参加したい。

（委員長）

参加を楽しみにできる活動が多数ある。

３月以降は新型コロナウイルス感染症の影響で休館となり利用者が減少したが、それまでの行事や活動を振り返ると豊かな１年であったと思う。令和２年度もできる範囲で工夫しながら運営してほしい。

親子活動（子育てグループ活動）も多数あり、活動を経て良いつながりができているため、今後も継続的に実施してほしい。

（２）報告事項「令和２年度児童館の事業計画について」

- ・事務局が資料④から⑧を説明、その後に委員による質疑応答。

（委員）

臨時休館中は子どもが「いつ開くかな」と開館を楽しみに待っていた。

開館してからは何度も利用しているが、おもちゃの消毒など児童厚生員の対応が丁寧で、安心して利用できる環境が整備されていてありがたく思う。

（委員）

定員の縮小や開館時間の短縮等感染拡大対策を講じるにあたっては多くの人に来てほしいという気持ちとの間で葛藤があったと思うが、安心して利用できる対策だと思う。児童館利用カードに連絡先等を記入して追跡できるようにするのは良い案である。

(委員)

最近はあまり利用できていないが、子どもが興味のあるものを指して「参加したい」と意思表示をするようになった。感染対策も徹底して行っているので今後はどんどん利用したい。

(委員長)

児童厚生員が笑顔で丁寧に対応することで、利用者は安心する。館内全体を何度も消毒するのは大変だが、徹底して続けてほしい。

定員を縮小することで、利用者が定員を超えることはあるのか。

(事務局)

超えた場合はお断りしているが、今は利用者を市内在住、在学（在園）の親子のみに制限しているため、少数に抑えられている。

(委員長)

市民の利用で枠が埋まっている状況か。

感染の第2波がやや落ち着きつつある状態ではあるが、冬場の感染拡大への対策も今後考えていただきたい。感染状況が深刻になるとロックダウンも考えうるため、状況の変化に応じてどのように対処するのか、今後の状況を予想しながら対策を立てていただきたい。

親子活動は3歳児が少ないことにさみしさを感じるが、0～1歳児の時に児童館を楽しく利用することで子どもたちの中で児童館が大きな存在となり、3歳児で就園してからは遊び場の選択肢の1つとして児童館を利用するようになるのではないかと。

利用に制限がある中でも利用があるうえに、児童厚生員が笑顔で丁寧に対応し、それに対して多くの利用者が感謝している。来館者数の多寡ではなく、利用者に対して様々な配慮をしているという点から、現状の児童館運営を高く評価する。

(事務局)

加東市児童館の主たる対象は未就園児だが、幼い頃に児童館をよく利用していた人が高校生や大学生になりボランティアとして、または事業の参加者として時折来館している。児童館の存在を思い出して利用してくれることをうれしく感じる。

(委員長)

このような状況下で、児童館を中高生の居場所として支援をしていければと思う。

いい思い出があるからこそ再び利用するのではと思うので、今後も良い児童館づくりをしてほしい。

(委員)

貸館での活動はまだできないのか。

(事務局)

感染拡大防止の観点から、利用制限をかけることがベストな方法と考えている。今後は感染状況の変化に合わせてその都度判断していく。児童館を広く利用していただくことが本来の目的であるが、そのような状況を踏まえての判断であることをご理解いただきたい。

(委員)

今年度は自主サークルを一度も実施できていない。活動の実績がないが、来年度も活動を続けることは可能なのか。

(事務局)

続けていただいて問題ない。自主サークルの活動に部屋を貸すことはできないが、通

常の利用方法で人数制限を順守したうえで活動を行うことは可能である。

(委員)

工作室を使ってよいか。

(事務局)

占有はできないが、他の利用者を含めて密にならない状態であれば利用可能である。

(委員長)

方法を工夫しながら継続できる範囲でやっていかなければいけない。集まって活動できない状況ではあるが、今は我慢の時である。

ズームやウェブエックス等リモートでの活動を試したり、自主サークルの中で密にならない程度の人数に分かれて活動するのはどうか。

(委員)

子どもは複数人集まって遊び始めると、密になってしまう。

(委員長)

子どもが密になるのは止められない。密になることによる感染のリスクと人間的な触れ合いのバランスを保つようにしていただきたい。

(事務局)

時間帯や感染拡大の状況によっては利用者が少ない時があるので、そういった時に利用してみてはどうか。

(委員長)

学校が始まると、利用者も減るため乳幼児も利用しやすくなるのではないかな。

(3) その他

・特になし。

【閉会】

・事務局より連絡

○次回の委員会について

○委員報酬の支払いについて

・閉会のあいさつ（広西部長）

○当日資料

- 資料①-1 児童館来館者数（平成26年度～令和元年度）
- 資料①-2 令和元年度 児童館来館者数（前年度との比較）
- 資料①-3 令和元年度 児童館来館者の内訳
- 資料② 令和元年度 「かとう子育てねっと」運営状況
- 資料③ 令和元年度 児童館主要事業実績
- 資料④ 令和2年度 児童館運営方針
- 資料⑤-1 令和2年度 児童館来館者数（前年度との比較）
- 資料⑤-2 令和2年度 児童館来館者の内訳

資料⑥	令和2年度 児童館主要事業計画
資料⑦	令和2年度 児童館年間行事活動予定表
資料⑧	児童館新型コロナウイルス感染症対策

令和2年 10月 14日

委員長

鈴木正敏

